

北海道の山のトイレ事情

不十分なトイレ整備

当会の活動の発端となったのは、大雪山などで使用済みの紙や尿尿が散乱し、高山帯の植物が踏みつけられて道ができていた状況が散見されたことでした。

北海道では、登山口が林道の終点などでトイレのない場所も多く、避難小屋が主体で、トイレがない場所もあります。

主要160山のうち、53箇所には登山口にトイレがありません。山中では、141箇所です。黒岳石室のコンポスト式や羊蹄山の土壌処理方式という新たなトイレが設置されたり、利尻山や羅臼岳、トムラウシ山やニペソツ山などでは携帯トイレが推奨されるなど対策は進みつつあります。

しかし、まだトイレのない避難小屋や野営地も多く、いまだに紙や尿尿が散乱している状況を知っていただいた上で、登山を楽しんでもらいたいと思います。



ボランティアによるティッシュの回収。(左)十勝連峰の美瑛富士小屋周辺。(右)日高山脈のチロ口岳

官民協働の取り組み

行政による管理に加え、各地で山岳会や市民団体が登山道・避難小屋の補修・清掃、ゴミ拾いや啓発活動を行っています。

当会がトイレの設置を求めてきた美瑛富士避難小屋には、携帯トイレブースが仮設されることになり、北海道内の山岳団体が結集して維持管理を行います。

山を汚すのも、汚れて困るのも登山者自身です。山に登る私たち自身にできることを考えてみましょう。



トムラウシ山南沼野営地付近。あちこちに便とティッシュが散乱している

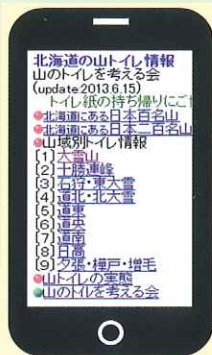


すぐにできることは?

携帯トイレの使用を登山者にもとめる山も増えてきています。持ち込んだものは、尿尿も含めてすべて持ち帰るのが理想ですが、登山中に使った紙を持ち帰る、登山前にトイレの場所を確認し、早めに排便・排尿をすませておくだけでも影響を少なくできます。

登山口および山中のトイレの状況については、当会のホームページでご確認下さい。登山前に、装備や天候とあわせて、トイレもチェックを習慣にしましょう。

<http://yamatoilet.jp/i/yamatoilet.htm>



山のトイレを考える会

糞尿による自然破壊は知らぬ間に深刻な状態になっています。「このままでは我々登山者が加害者となり、自然を破壊してしまう」という危機感から行動を始めたのが「山のトイレを考える会」です。

多くの方に現状を知っていただき、少しでも山への被害を減らそうという活動を行っています。活動の趣旨にご理解をいただき、実践されるようお願いいたします。

山のトイレデー

2001年から毎年1回「全道一斉山のトイレデー」として、全道各地の登山口で、山のトイレマップの配布、登山者への啓発、アンケート調査、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行っています。事前にホームページ、ポスターなどで協力者を募集しています。いっしょに活動しませんか。



山のトイレデー (黒岳)



美瑛富士の清掃登山

会員募集

会員には、ニュースレターをお送りするほか、トイレデーやフォーラムなどのイベント案内をお送りします。

年会費：個人会員1,000円、団体会員3,000円

振込先：ゆうちょ銀行 口座番号：02720-6-009768

口座名義：山のトイレを考える会

※他行からの振り込み

ゆうちょ銀行(9900)店番：279 店名：二七九店 当座：0009768

口座名義：山のトイレを考える会

山のトイレを考える会事務局

〒004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18

担当：小枝

E mail: hokkaido@yamatoilet.jp

編集・図版作成・デザイン・DTP作業：菅原靖彦

HOKKAIDO

山のトイレマナーガイド

知らずに自然を壊さないために

携帯トイレ
使用法付き!



山のトイレマナー5カ条

- 山に入る前にはトイレへ行こう
- できるだけトイレで用を足そう
- トイレにゴミは捨てないで
- 使用済みの紙は必ず持ち帰ろう
- 携帯トイレも使ってみよう

山のトイレを考える会

<http://www.yamatoilet.jp>

本リーフレットは2016年北海道新聞エコ大賞の賞金で作成しました。2016.11

登山の前に トイレへ行こう



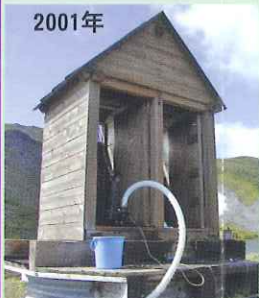
登山のほとんどは日帰り登山です。登山口近くの公衆トイレや道の駅、コンビニなどで事前に済ませることができれば、登山中の用便は減らすことができます。トイレマップ(大雪・十勝編)、登山口トイレ情報は登山用具店などにあります。ホームページもご覧ください。

トイレにゴミを 捨てない



大雪山のトイレの汲み取り風景です。汚水ポンプで汲み取るホースってこんなに細いんです。ティッシュ程度でもすぐに詰まります。

汚い写真ですが、便槽の中身です。ヒサゴ沼避難小屋



2001年
汚水ポンプで汲み上げる
便槽に浮かぶゴミ

洗剤容器、生理用品、ティッシュの空き袋、下着、空き缶、空きビン、たばこの吸殻、なんでも落ちています。ごみを持ち運ぶのがいやで、ごみ箱がわりにしている人もいます。残念ながらこれが自然をこよなく愛する登山者の実態です。ごみを取り除く作業のために、通常の5倍以上の時間がかかり、費用も増えています。



写真 北海道十勝支庁提供

使った紙は 持ち帰ろう

野外でも山小屋のトイレでも、使った紙は持ち帰りましょう。そのために、ポリ袋はいつも持ち歩きましょう。うん。これぐらいなら誰にでもできるね。



せめて紙ぐらいは持ち帰ろうよ



年間3,000人が押し寄せる百名山ブームの幌尻岳。幌尻山荘のトイレはすぐに満杯になります。ヘリを頼む資金もなく、登山協力者の手で、危険な徒渉を繰り返して山麓に運ばれます。紙を便槽に捨てないなど、わずかな積み重ねが、この苦勞を軽減します。

① さて、準備



② どこでトイレしようか？

トイレブース

臭いトイレより快適だなア

便座に袋を掛ける

何も無い場所

便袋を広げて、縁を折り返して容器状にする

気持ちいい場所だけど、植物を踏み荒らさないでね

用を足す

腰掛け便器の要領ね

和式の要領

こちらは

③ 密閉する



用がすんだら写真のように①で切り取った便袋の端で縛る。

- 吸収材が入っているので小便も完全に吸い取り、漏れない。
- トイレトーパーもいっしょに入れる。
- あとで燃やせるゴミとして処理するので生理用品は別のポリ袋に入れる。

④ 容器に入れる

高密閉チャック袋に入れると終了。漏れが不安なときは、より厳重な密閉容器に入れるとよい。コーヒーや茶の缶を持つ人もいます。



⑤ 下山したら

鍵ナンバーは530 (ゴミゼロ)

原則、自宅で処分する。登山口に回収ボックスがあるときはそこで廃棄。回収ボックスを置く登山口が増えている。

⑥ 家に帰ったら、分別処理



便を出した後の袋 可燃ゴミ
便とトイレトーパー トイレへ流す
高密閉チャック袋 不燃ゴミ